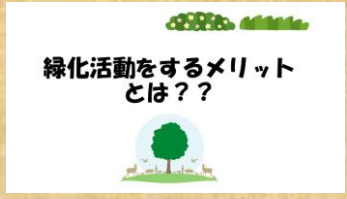


里山の管理と作業の安全確保 2021.11.24 (火) 18:30~20:00 講師 愛知県東三河農林水産事務所林務課

最終回を迎えた本講座。今回は14名の方とともに前回に引き続き河邊さんの樹木の管理についてと里山の管理と作業の安全確保について講師の愛知県東三河農林水産事務所林務課の方のお話を聞きながら学びました。チェーンソー等の使用方法について学び、普段の作業の安全確保について考える機会となりました。

① 前回のおさらい (公園緑地課)



緑化活動をするメリットとは??

まずはじめに、公園緑地課より第1回、第2回の講座について振り返りました。

② 講義 (里山の管理と作業の安全確保)




愛知県東三河農林水産事務所林務課の方から東三河の山林保全に関する事とチェーンソーの使用方法についてスライドで説明がありました。松枯れの原理やチェーンソーを用いた木の伐採方法を学び、里山で緑化活動されている方から公園で作業を普段されている方まで参考になる内容でした。

○ ソーチェーンの構造について
・横刃=ノコギリ、上刃=ミ、テフスケージ=カンナ



○ チェーンソーの特徴と構造



チェーンソーの安全機能
ブレーキレバー
チェーンキャッチャー
ハンドガード
スロットルロックアウト

○ なぜ、里山林の保全が必要なのか



健全な森林のすがた (森林の多面的機能の発揮)
 リフレッシュ機能、地域/国境をつくる、水源かん養・水質の浄化、緑の生き物を守る、地球温暖化の防止、文化伝承・教育の場、土砂崩壊/台風等の災害から守る

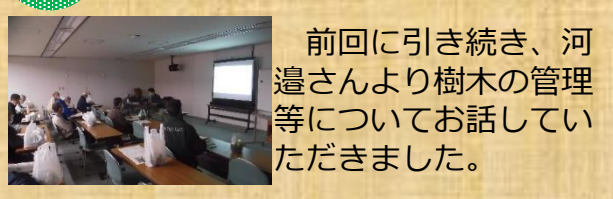
4 合図

・呼子または大声で必ず行い、周囲の作業者及び通行者の安全を確保して作業を進めること
 ・合図が「予備合図」、「本合図」、「終了合図」を行うこと



実際にチェーンソーを使用するには別途講習を受ける必要があります。今回は作業の安全確保について改めて確認する機会となりました。

③ 講義 (河邊さん)



これで令和4年度の「緑のコーディネーター育成講座」は終了です。今回の交流による横のつながりや樹木や機材の使い方を今後の緑化活動に活かしていただけだと思います。ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。